



ミネベア株式会社決算説明会

2005年3月期第1四半期決算

2004(平成16)年 8月11日

代表取締役 社長執行役員 山本 次男

2005年3月期第1四半期 業績

(百万円)	--- 2004/3期 ---		2005/3期	1Q 伸び率	
	1Q	4Q	1Q	前年同期比	前四半期比
売上高	66,489	66,105	71,324	+7.3%	+7.9%
営業利益	4,259	4,106	2,802	-34.2%	-31.8%
経常利益	3,285	2,535	1,982	-39.6%	-21.8%
税引前利益	2,177	3,069	1,937	-11.0%	-36.9%
純利益	421	1,671	208	-50.5%	-87.6%

増収減益

電子機器セグメントの損失が拡大

第1四半期 セグメント別収益

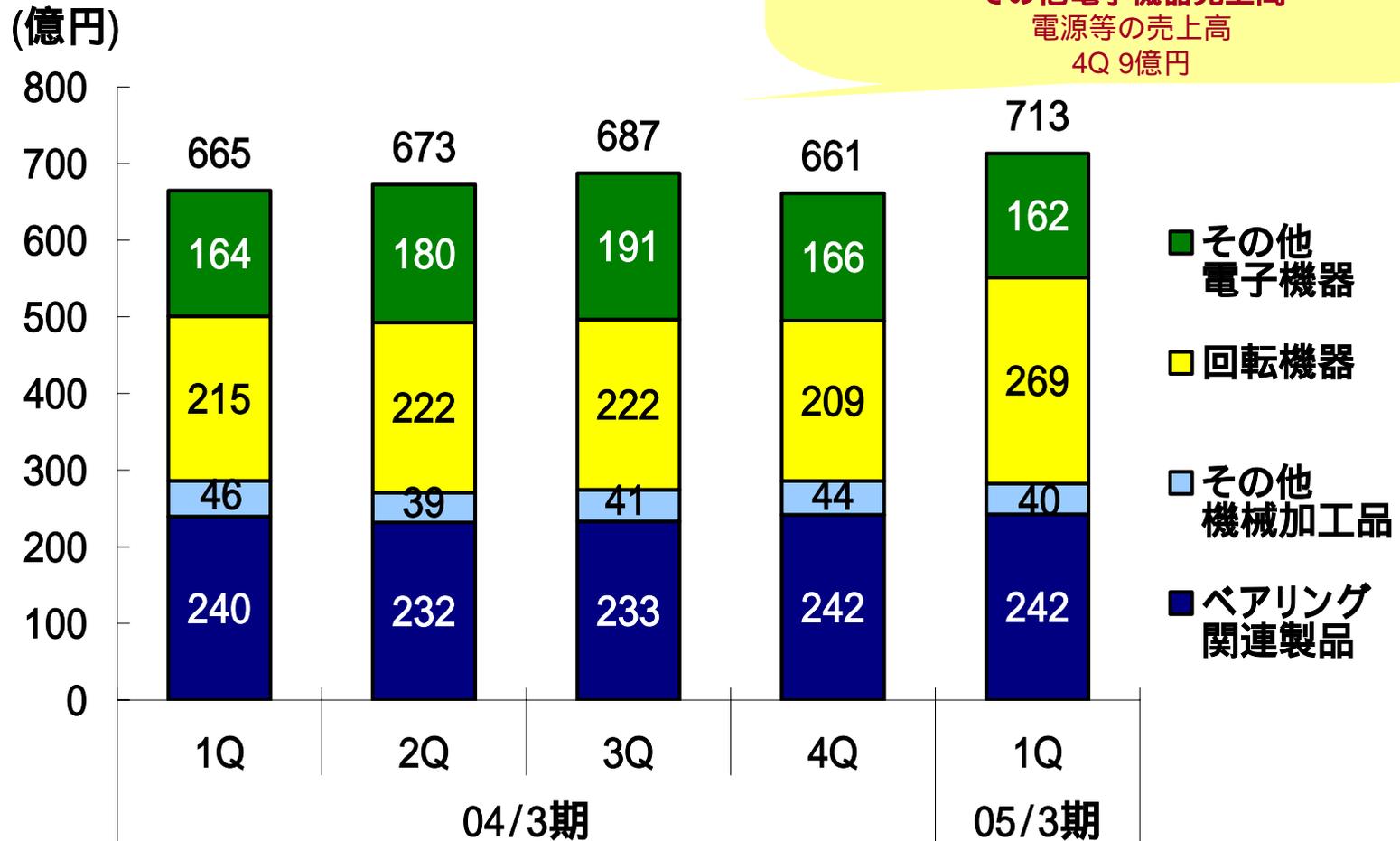
(百万円)	----- 2004/3期 -----				05/3期	1Q 伸び率	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	前四半期比
(売上高)							
機械加工品	28,606	27,059	27,434	28,593	28,256	-1.2%	-1.2%
ベアリング関連製品	23,959	23,169	23,324	24,152	24,247	+1.2%	+0.4%
その他機械加工品	4,646	3,892	4,109	4,442	4,009	-13.7%	-9.7%
電子機器	37,883	40,193	41,294	37,511	43,067	+13.7%	+14.8%
回転機器	21,458	22,184	22,209	20,890	26,852	+25.1%	+28.5%
その他電子機器	16,424	18,011	19,084	16,622	16,216	-1.3%	-2.4%
合計	66,489	67,252	68,728	66,105	71,324	+7.3%	+7.9%
(営業利益)							
機械加工品	4,908	4,270	5,035	5,292	5,082	+3.5%	-4.0%
電子機器	648	937	503	1,186	2,279	-	-
合計	4,259	5,208	4,531	4,106	2,802	-34.2%	-31.8%

売上高推移

売上高は増加傾向
HDD関連を除くほぼ全ての主要製品の売上高が
4Qから増加

回転機器売上高増加
ミネベア・松下モータ社設立に伴う上乗せ61億円

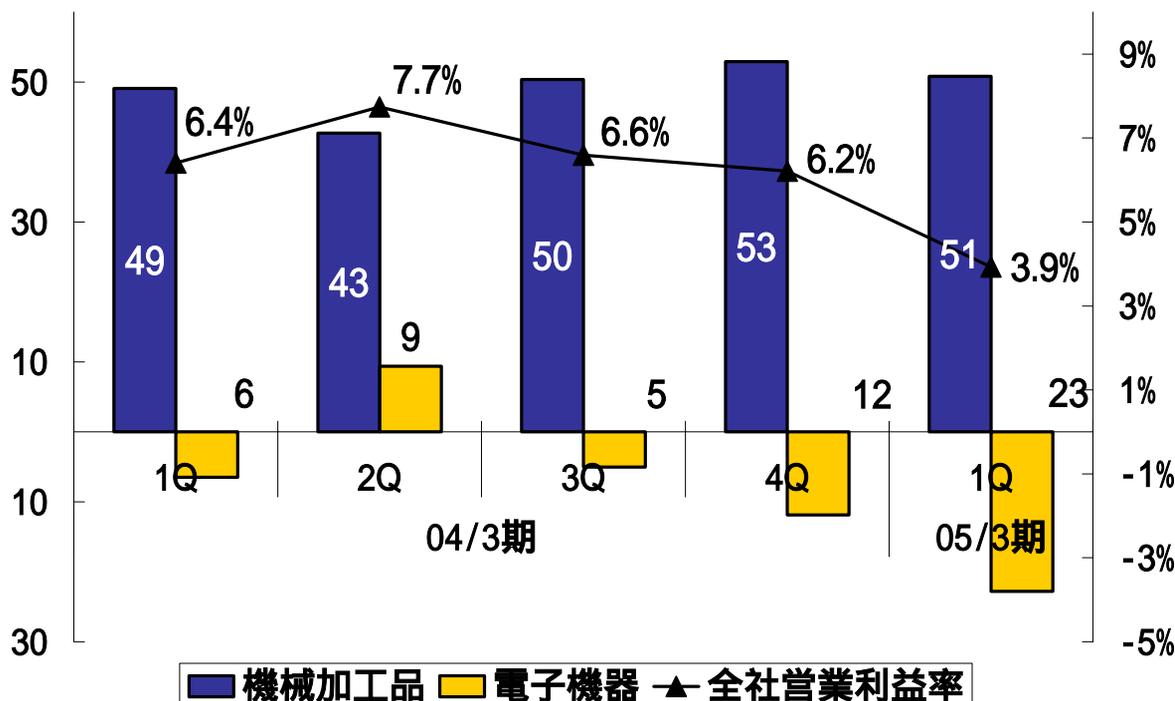
その他電子機器売上高
電源等の売上高
4Q 9億円



営業利益推移

機械加工品セグメントは堅調
電子機器セグメントが課題

(億円)



セグメント別営業利益率

	04/3期				05/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
機械加工品	17.2%	15.8%	18.4%	18.5%	18.0%
電子機器	-1.7%	2.3%	-1.2%	-3.2%	-5.3%

注: 各セグメントの営業利益率は外部顧客に対する売上を使用

第1四半期の実績について

■ ボールベアリング事業

販売・生産・利益全てにおいて引き続き好調

■ HDDスピンドルモーター事業

主要顧客の生産調整の影響

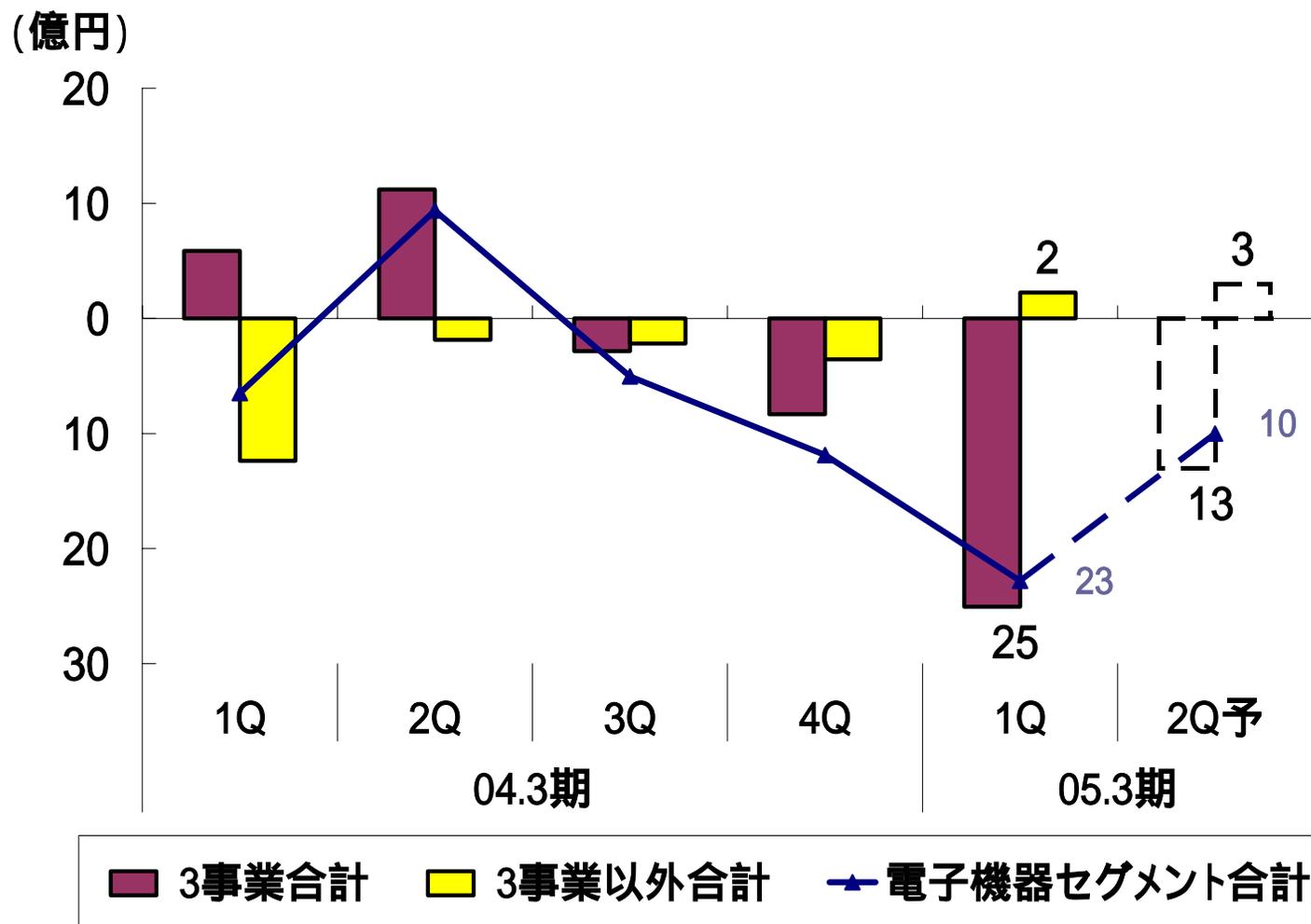
■ キーボード事業

生産移管に伴う固定費負担増

■ ミネベア・松下モータ社

製造拠点統合に伴う費用前倒し発生

電子機器セグメント営業損益



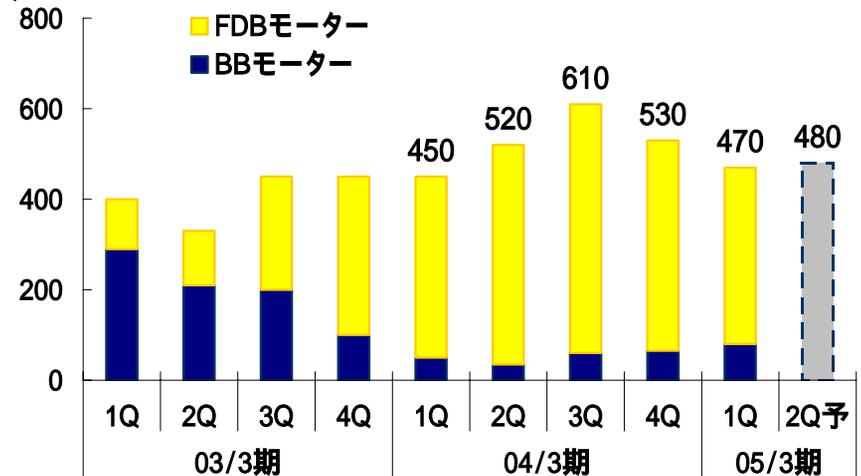
HDDスピンドルモーター事業

- 1Qは主要顧客の生産調整の影響により販売数量は前年度4Q比10%減。
- 2Qは若干の回復を見込む。
- 新規受注の獲得に取り組み中。3Q～4Qにかけて成果を出す目標。

収益改善のための施策

- ◆ 販売数量のボトムアウト
- ◆ 全工程においてコスト低減を継続

当社HDDスピンドルモーター販売数量推移・見込み
(万台/月)



新型FDBモーターの開発とサンプル活動を強力に推進中

- | | |
|--------|--|
| 3.5インチ | ROFタイプ 客先での評価試験は好調 4Qに量産開始予定
同時に、顧客層拡大に注力 |
| 2.5インチ | 従来型 客先にて評価中 4Qに量産開始予定
ROFタイプとHMFタイプを開発中 |
| 1.8インチ | HMFタイプのサンプル活動を実施 |

ミネベア・松下モータ社

統合作業を前倒して実施

- ◆ 生産品目の統合
- ◆ 外注の整理
- ◆ 部品製造の強化
- ◆ 組立工程の適地移管

生産拠点の整理統合

- ファンモーター } ミネベア工場への移管を年末までに終了
- ステッピングモーター }
- 振動モーター } 統合作業を加速
- ブラシ付DCモーター } 生産効率の見直し
(金型・設備機械・組立ライン)

充実した製品ラインアップで拡販を実施

製品	2Q売上高 見通し(1Q比)	販売見通し
ファンモーター	2桁%増	ゲーム機用が回復へ。PC向け需要増加。デジタル家電向けが好調。
ステッピングモーター	2桁%増	OA向けが好調。
振動モーター		主要顧客の生産調整終了へ。リニアタイプ新製品を市場投入。
ブラシ付DCモーター		コスト低減と受注獲得に向けた活動を強化。

キーボード事業

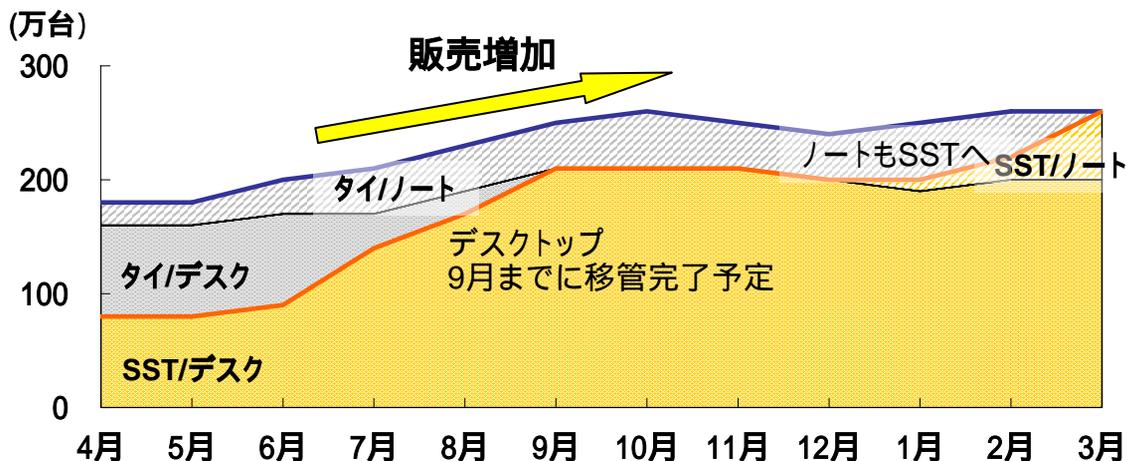
SSTへの生産移管を推進

タイからSST(上海)への
生産移管を急ピッチで実施中
短期的に大幅コストUP

優先取り組み事項

- ◆ SST生産の承認活動推進
- ◆ SSTの生産性UP

今期販売見込み及び生産移管計画



販売が増加トレンドに

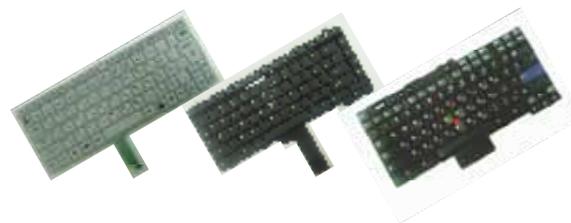
年末、販売は月産250～300万台ベースに
ノートは月産50～60万台

- ◆ 新規顧客向けの販売が拡大
- ◆ 付加価値製品の開発・製品化
- ◆ ノート向け販売が拡大

ワイヤレス2.4ギガ、スマートカード 製品化へ

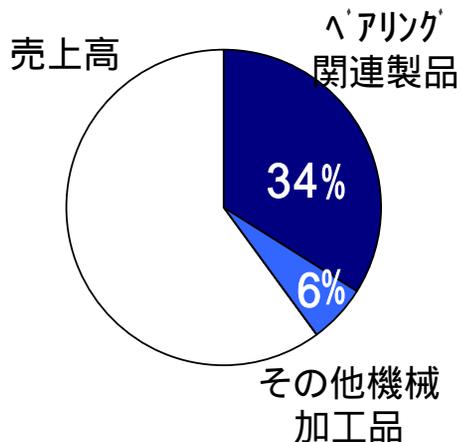


ノート向け新製品



第1四半期主要製品売上高

機械加工品セグメント



ベアリング関連製品

ボールベアリング：(売上高比率 24%) 前四半期(4Q)比 +2%、
日本とアジア向けを中心に販売数量が順調に拡大

ロッドエンド・スフィカルベアリング：(5%) +4%、リージョナルジエツト向け等米国が好調
ピボットアセンブリ：(5%) -10%、HDDメーカー各社の生産調整の影響

回転機器

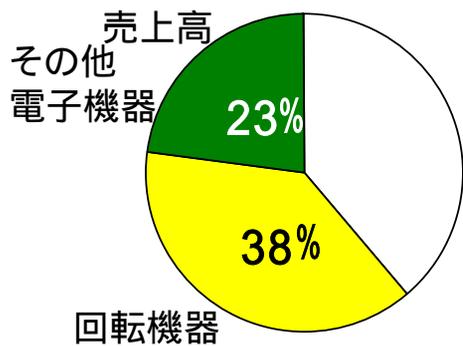
HDDスピンドルモーター：(13%) -5%、主要顧客の生産調整の影響

ファンモーター：(10%) +10%、旧松下分の売上の寄与

ステッピングモーター：(7%) +4%、増加分は旧松下からの上乗せ

ブラシ付DC & 振動モーター：(8%)、主要仕向け先の生産調整

電子機器セグメント



その他電子機器

キーボード：(8%) -11%、季節要因、受注は増加傾向

エレクトロハイイス：(7%) +24%、バックライトインバーターの組替え、全製品が売上増加

スピーカー：(5%) +23%、スピーカーボックスの好調、計画を上回る

ボールベアリング事業

- 1Qはエアコン、ファン、事務機器、自動車を中心に全体的に好調、外販が月1億1,000万個以上に。Q2は季節要因 - エアコンのオフシーズン、欧米の夏期休暇。
- 販売単価の下落幅は従来より縮小。
- 一段の生産性改善によりコスト低減が進展。

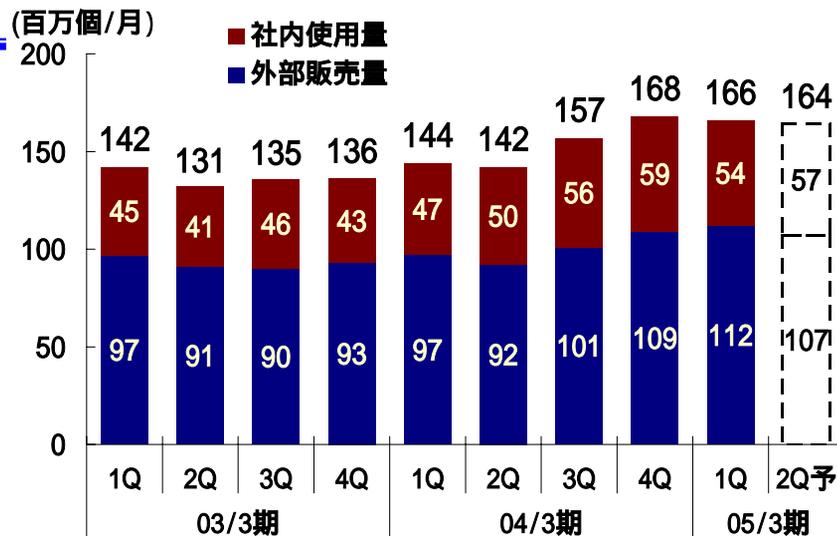
「月産1億8,000万個体制」
の定着に向けて前進

ボール新工場の建設

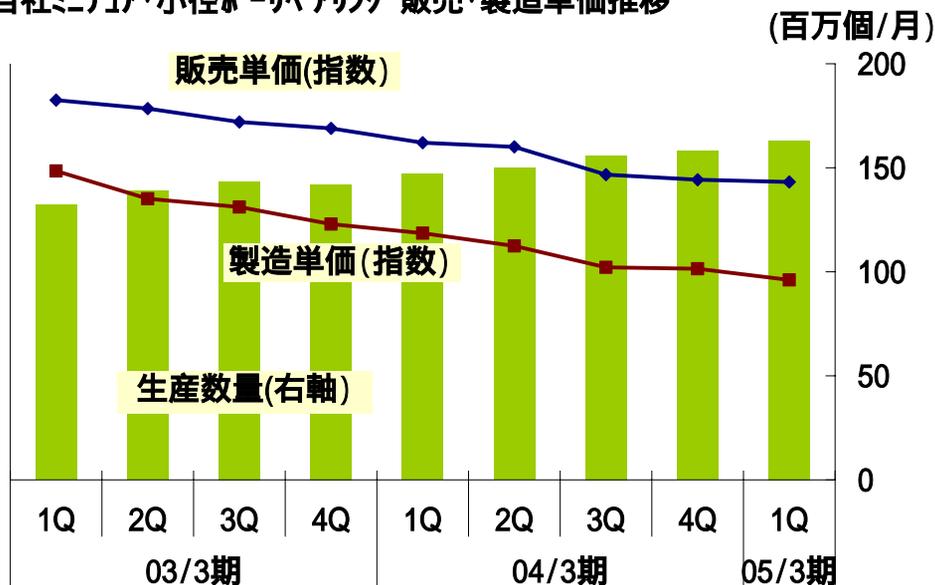
- タイ・ロップリ工場敷地内
- 8月に完成、設備機械搬入予定
- 建設費6億円

↓
生産能力引き上げ
リスク分散

当社ミニチュア・小径ボールベアリング 販売数量推移



当社ミニチュア・小径ボールベアリング 販売・製造単価推移



第1四半期 用途別売上高・地域別売上高

自動車、家電、情報通信機器の比率が上昇
ミネベア・松下モータ社による上乗せ

用途別売上高

	自動車	航空・宇宙	家電機器	情報通信機器(OA)	PC及び周辺機器	モータ	その他	合計
売上高比率	10.1%	8.3%	12.5%	16.2%	36.1%	5.2%	11.7%	100.0%
前四半期比 伸び率 (4Q比)	+27.3%	-6.9%	+47.8%	+45.4%	-4.8%	-1.9%	-10.5%	+7.9%
前年同期比 伸び率 (前年度1Q比)	+49.1%	-11.0%	+9.7%	+111.9%	-11.1%	+9.6%	-8.7%	+7.3%

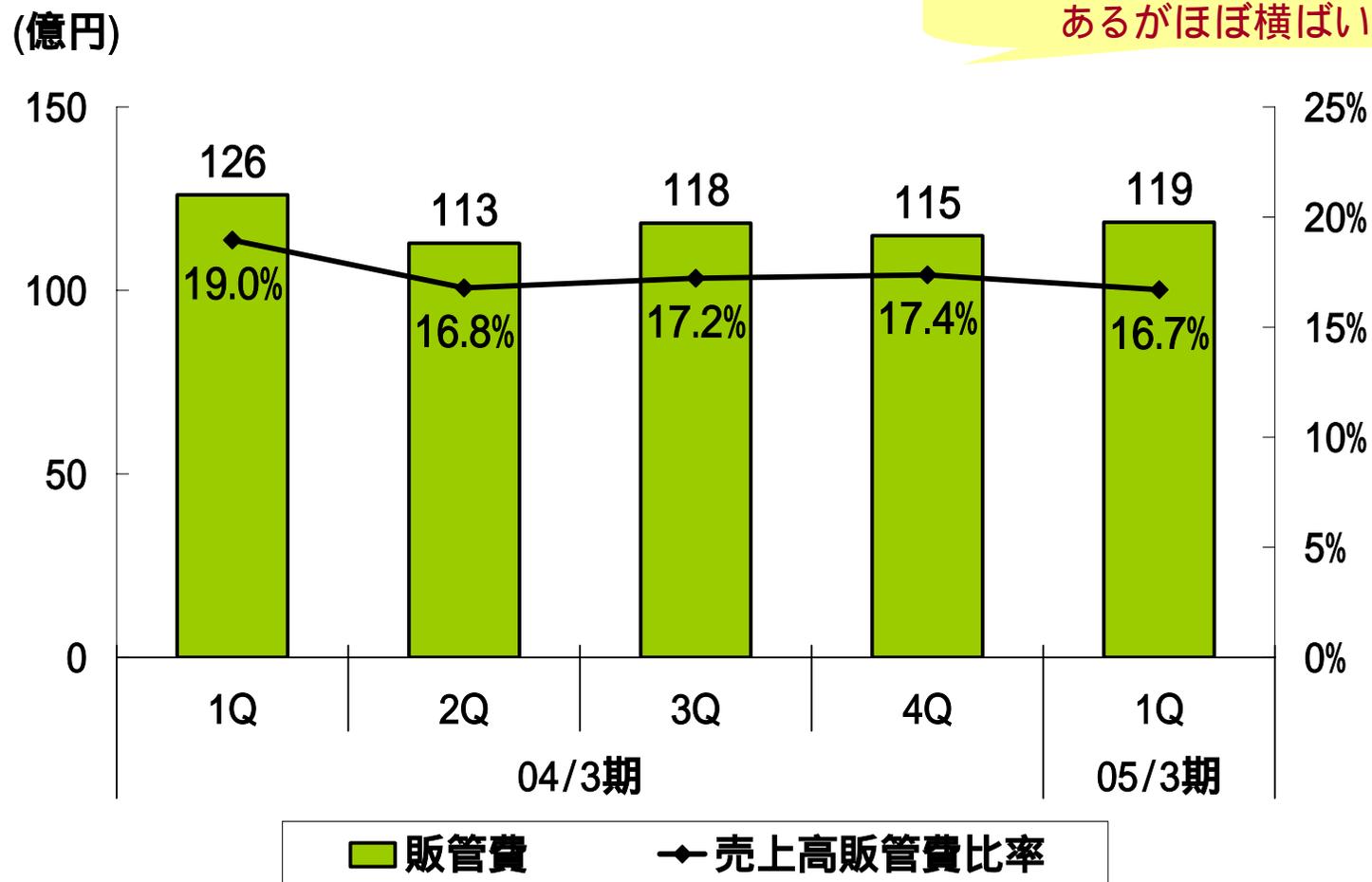
地域別売上高

	日本	アジア (除 日本)	北米・南米	欧州	合計
売上高比率	27.2%	47.3%	15.4%	10.1%	100.0%
前四半期比 伸び率 (4Q比)	+2.3%	+19.6%	+2.4%	-12.3%	+7.9%
前年同期比 伸び率 (前年度1Q比)	+17.9%	+11.0%	-3.4%	-13.0%	+7.3%

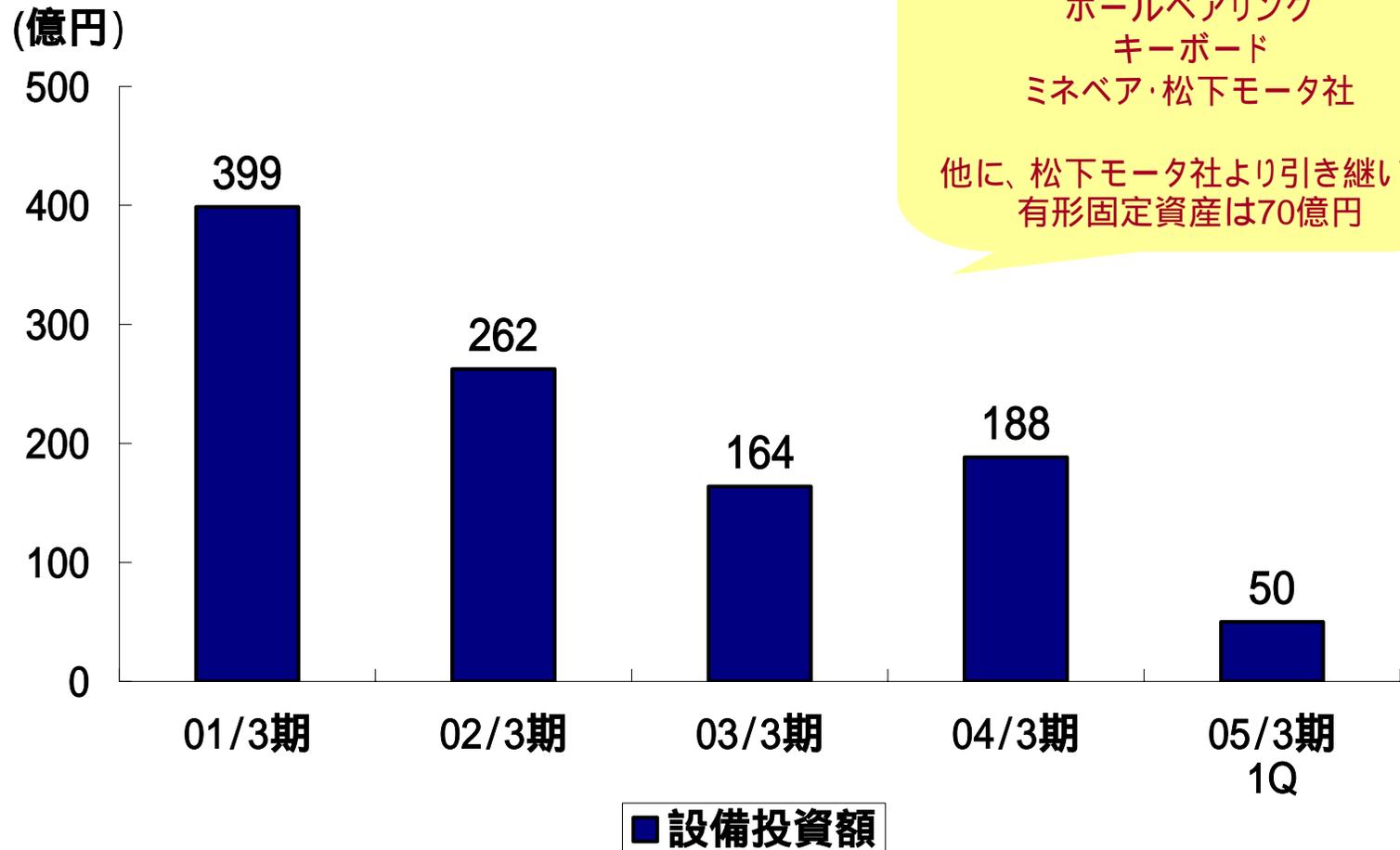
中華圏での売上高は
現地通貨ベース
前四半期比11%増

販管費推移

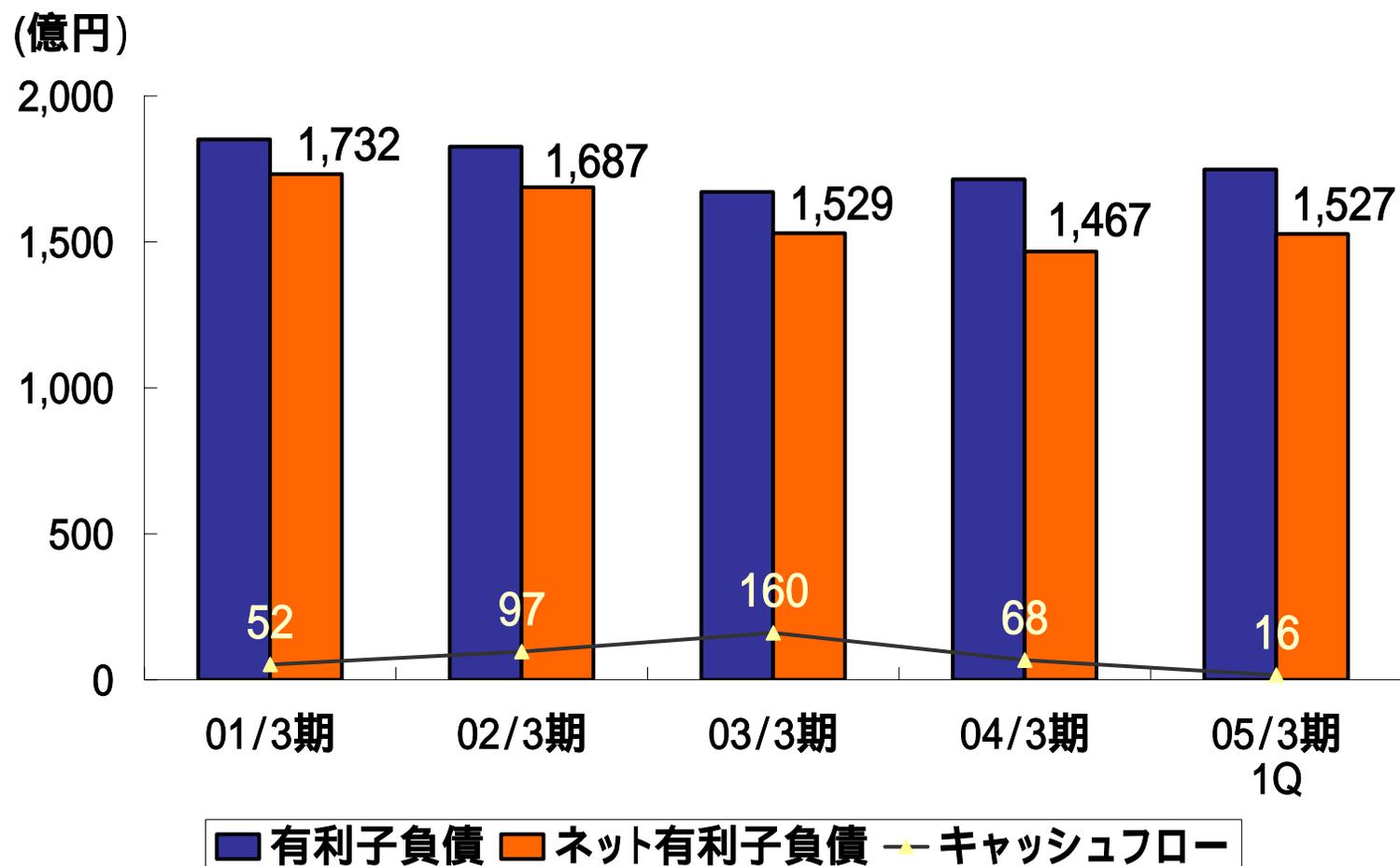
ミネベア・松下モータ社の経費
あるがほぼ横ばい



設備投資額推移



有利子負債推移



注: キャッシュフロー = 営業活動CF - 投資活動CF

ミネベア株式会社決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。